

平成14年度（2002年）

流行語……タマちゃん、ワールドカップ、声に出して読みたい日本語、ムネオハウス

- 04/10 ゆめさくら落成式
- 04/19 ミルクファームHARU出店前
役員現地視察
- 04/27 ミルクファームHARU船出
- 04/30 東城でのアイス製造業務の廃止
- 06/28 第8回通常総会
- 07/01 家畜排泄物法の施行を前にし
た管理記録の義務化
- 07/04 死亡した牛の届け出が義務化
- 08/27 飼料製造供給センター視察
- 08/22 日本ミルクコミュニティ(株)誕生
- 09/01 旧東城事業所解体撤去
- 09/29・30 地産地消運動
- 10/01 牛用配合飼料運搬車輛の専門
化が進む



- 10/01 全酪連飼料工場岡山に移転
- 10/25 第1回広酪飼料利用推進委員
会開催
- 12/01 飲用向け乳価24年ぶりの値上げ
- 02/01 広島食肉市場経産牛受け入れ
自粛を解除
- 02/13 酪農ヘルパー交流会
- 03/31 県普協ミスミルク活動に終止符

食彩館しょうばら ゆめさくら ミルクファームHARUが船出

◆4月27日 庄原市新庄町に庄原市総合拠点施設「食彩館しょうばら ゆめさくら」が誕生。オープン初日2,500人を集客。

広酪は、「ミルク工房」の運営に参加し、店舗名称「ミルクファームHARU」として出店。地元産の生乳を使用したアイスクリームの製造販売や牛乳・七塚バター等の乳製品販売を手がけることになった。これに伴い、4月30日をもって広酪東城アイス製造事業所でのアイス製造業務は廃止した。



話題……貸し剥がし、真珠婦人、ノーベル賞ダブル受賞、内部告発、ベッカム、拉致



飼料製造供給センターを視察

◆広酪では、事業計画において「乾乳牛用醗酵飼料の製造可否」を検討。8月27日に先進地である大分県酪農協飼料製造供給センターを視察。



新市乳会社・日本ミルクコミュニティ

◆雪印乳業・全国農協直販・ジャパンミルクネットは、8月22日に3社の市乳業務を統合し、1月1日に設立する新会社「日本ミルクコミュニティ」の概要を発表。新ブランドの名称は「MEGMILK」（メグミルク：恵みとミルクを組み合わせた造語）とした。

旬の広島つかみ獲り～地産地消運動～



◆9月29日・30日の両日、庄原市「国営備北丘陵公園」において、地産地消イベントを開催。地産地消とは、「地域で生産された食材をその地域で消費」という意味。

このイベントに、地元生乳を使用したアイスクリームを提供する「ミルクファームHARU」が出店し、消費者との交流を深めた。

平成14年度（2002年）



ミスミルクによる活動に終止符

- ◆様々なイベント等で牛乳・乳製品・酪農に関してPRに大きく貢献し、イベントに花を添えていた広島県牛乳普及協会のミスミルクが、時代の流れを受けた色々な諸事情もあり17年間続いた活動に終止符をうった。



第1回飼料利用推進委員会

- ◆広酪飼料利用推進委員会設置規程に基づき組織を立ち上げ組合長が召集。10月25日に「第1回広酪飼料利用推進委員会」を開催。「カビ発生防止対策」・「新しいコンプリート開発」の方向などを協議。

飲用向け乳価24年ぶりの値上げ 50銭～80銭/kg

- ◆平成14年度乳価交渉は、市場正常化による牛乳卸価格改定を実現し、乳価値上げ原資を確保した上で学乳向けを除く飲用向け基本乳価100円/kgの統一乳価（5円/kgの値上げ）を獲得する方針で進められた。
- ◆しかし、デフレ経済の中、市場正常化は困難を極め、財源確保が出来ない状況において乳業者とは、飲用向け基本乳価（学乳向けを除く）50銭～80銭/kgの値上げで合意。わずかな水準ではあるが、24年ぶりの値上げとなった。



広島食肉市場 経産牛自粛を解除

- ◆広島食肉市場ではBSE発生後、経産牛の出荷自粛要請を行ってきたが、昨年末、関係期間および食肉業者等との協議がもたれ、生年月日による出荷自粛が全面解除となった
- ◆これに伴い、2月1日から全酪連を通じた経産牛の計画出荷を再開することとなった。

山口県酪農ヘルパーとの交流会開催

◆2月13日山口県酪農ヘルパー協会（9名）と広島県酪農ヘルパー利用組合（10名）による交流会を開催。同じ志を持つ者同志で活発な意見交換が行われた。



（山口県酪農ヘルパー協会のメンバー）



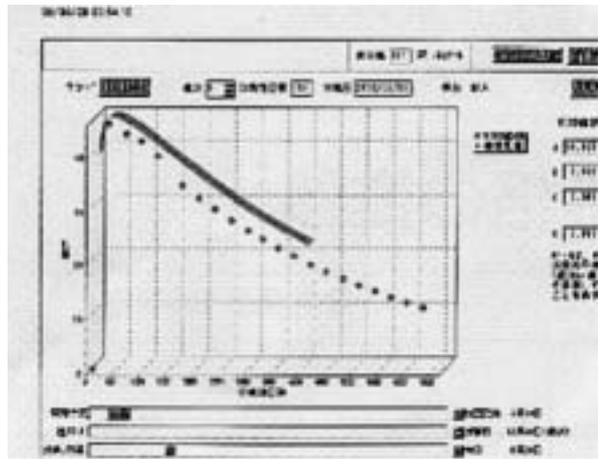
（広島県酪農ヘルパー利用組合のメンバー）

酪農経営データベースの普及啓発に取り組む



◆酪農経営データベース（酪農DB）とは、中央酪農会議の酪農全国基礎調査データ、各県畜産会が実施している経営診断の経済データ、家畜改良事業団の牛群検定データが中央のサーバ内で一元的に管理されており、より簡単に、よりスピーディに情報を取り出すことができ、より解りやすく、かつ正確に経営を見つめること

ができるシステム。広酪は平成14年度から本格的に酪農DBの普及啓発に取り組み、らくのうだより等に利用方法を掲載した。



平成14年度を振り返って

▼ミルクファームHARUオープン。上々のスタート。▼北朝鮮拉致被害者5人が24年ぶりに家族と再会。▼小柴昌俊氏が物理学賞、田中耕一氏が科学賞でノーベル賞を受賞。▼24年ぶりの乳化値上げ。今後の統一乳価の積み残しについて体制整備が急がれる。▼米スペースシャトル・コロンビア号が地球へ帰還途中、大気圏内で空中分解し宇宙飛行士7名全員死亡。▼アメリカ軍がイラクへの攻撃を開始する。小泉首相が武力行使支持表明。